

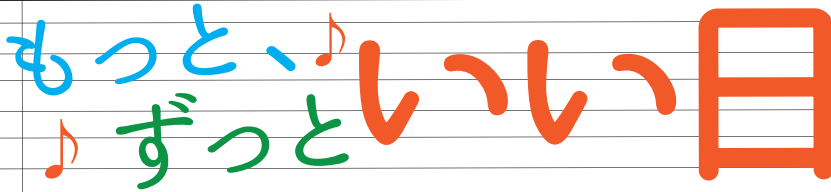
隔月刊「もっと、ずっといい日」
発行 / 2020.3.25
株式会社MOZU 東京都新宿区西新宿3-17-7
Tel / 03-5755-3150
企画・編集 / スタッフHMNS
無断禁転載・非売品(会員誌)

【監修】



一般社団法人
温熱療法協会
Hyperthermia Association

< 温熱レポート >



紫綬褒章を受章した著名な科学者が 探求するアンチエイジングの世界 「そりゃ、いいですよ。遠赤外線は健康に」

紫綬褒章を受章した著名な科学者(理学博士)が、なぜ「アンチエイジング研究会」の主宰理事長をしているのだろうか…。

多分、初対面の人ならその異色な「組み合わせ」に少なからず戸惑いを覚えるに違いありません。筆者もそうでした。

8年前、同研究会から講演の依頼があり名刺交換をした初対面の時に、先生の予想外の「別の顔」を知り胸中「なぜ」と思ったものです。

取材の開口一番。その時のことを話すと、石黒先生は「そうでしたか。そう思われるかも知れませんが、品のいい笑顔で頷かれました。

経歴を聞けば誰もがそう思います。大学卒業後に古河鋳業(現「古河機械金属株」)に入社。原子原料部の研究所

所長、取締役電子材料本部長

などを経験。ついでながら言えば、発光ダイオードやY-C基盤材料の高純度金属砒素の開発に成功し世界のトップシェアを築いた「伝説の人」として国内外から知られている学者です。

その間、多くの公職やそれに準ずる役割に就かれています。日本における半導体業界の発展に寄与した貢献に対して、先生は「科学技術庁長官賞」「日本鋳業協会賞」「紫綬褒章」等々を受賞しています。

経歴を見る限りでは工学畑の研究一筋の人生で、アンチエイジングの分野を結び付ける「別の顔」はどこにも見当たりません。しかし、ありました。キーワードは「鉱物」でした。キーワードは「美容」でした。キーワードは「健康」に好ましい作用をもたらす可能性がある秘められている物質がある」という密接な接点があったのです。

例えば、皮膚美容と鉱物。筆者が

「ブルースの女王」と言われた昭和の大歌手・淡谷のりこさんが生涯愛用した美顔器「ゲルマニウム美容ローラー」を開発したのは、不覚にも面識を得た後のことでした。

この製品は鉱物研究の権威者によって誕生したものでしたので、余談ながら、この製品は累計総出荷量350万個という美容業界空前の長寿商品です。「そうですね。あれはずいぶん売れたようですね。」

まるで他人事のように淡々と振り返ってくれました。仄間にあれば、先生は我が欲が薄く得た報酬は言うのも憚られるほど少なかったようです。鉱物と健康面での接点では、先生が開発した最先端技術の半導体材料を使った「ウエルアップ」医療用具「認可」という商品があります。

この製品は「酸素不足の酸化チタンの表面の焼結体に半導体シリコンを蒸着した薄膜で覆い、全体は先端を尖らせた円錐状の粒の形状」のもので、絆創膏で貼ると鋭い先端が患部を刺激することから、いわば「針のないハリ」の貼付型接触鍼です。実はこの製品こそが、後年、先生がこれまでの科学者とは「別の顔」となる「アンチエイジング研究会」の看板を掲げる契機となったものでした。

「その製品の開発当初、私は前立腺肥大で尿の出が悪くなりました。また肝臓障害が悪化し

診断されました」

幸いにもすぐに入院とはならず「1週間分の抗がん剤を処方され、それを家で服用しながらある水を飲んでいただいた」といいます。「ある水」とはなにか。それは先生が開発した「ウエルアップ」の円錐状の粒(100粒)を市販のミネラルウォーター(500ml)に入れた水(通称「ウエルアップ水」)でした。

「1日1〜1.5ℓ飲んだところ2〜3日後に尿がジャーと出るようになりました」

さらに続けること4カ月。「次第に気分がよくなりました。血液検査をしたところ肝臓が劇的に回復していました。担当の先生が肝臓がんにこんなに効く薬などない。何をしたのかと不思議がっていました。あれから病院には行っていません」

先生が考えるところの因果関係の「作用機序」はあります。紙幅の都合で説明は割愛しますが、「これまで多くの友人や知人がウエルアップ水を飲みその効果を確認している」のだといえます。

「自分は医者ではありませんので薬事法に触れることは言えませんが、この水を使っている罹患者率が下げられれば医療費の削減に大きな成果になると思うのですが…」

医療は非専門分野という歯痒さがあったのか、「ホリスティック医学協会の会長 帯津良一」さんにこの面談を申込み



石黒 三郎

いしぐろ さぶろう

古河鋳業(株)(現「古河機械金属(株)」)入社、原子原料部研究所所長、取締役電子材料本部長、東京大学工学部総合試験研究所受託研究員、科学技術庁至言調査会専門委員、応用物理学会熱源変換研究会委員、日本鋳業会超微粒子酸化物研究会委員、日本砒素研究会理事、新工エネルギー産業技術開発機構(NEDO)事前評価委員、経済産業省事前評価委員、国連技術部門DEVNET日本協会顧問。(科学技術庁長官賞、紫綬褒章、日本鋳業協会賞受賞)

誰でもわかる薬機法入門講座⑨

知らないではすまされない関連法規 ～法令遵守精神で正しい製品普及を～

すべての法律は完全なものではありませんが、特に人の健康や病気に関する違反は、人が適正な医療を受ける機会を奪いかねないだけに、そうした関連商品を扱う人は、あくまでも法律順守の精神で法の許す範囲のなかで慎重な上にも慎重に販売を行うことが求められます。こうした健康に与える効果を訴える分野の製品普及にあたって注意しなければならない法律に「医師

法」があります。「体験販売会」などとする販売会場で、白衣を着た販売員がお客様に「痛いところを出してください。すぐによくなりますから」「お使いになっていただいぶこのあたりに変化が表れていますよ」などと話しかけ、お客様の身体の部位に触れながら効能効果を訴える医療行為が「医師法」に違反しています。明らかに医師法違反です。私たちが理解しておかなければならない

医師法はそう多くはありません。この法律に抵触しそうな要点つまり禁止事項だけです。その内容に触れる前に医師法とは、どのようなもので何を定めた法律なのかを説明してみよう。医師とは医療を行う者です。現在の日本における医師の場合は、昭和23年に定められた法律に従わなければなりません。その法律が医師法(医師法法律第20号)です。

協会に入会させていただいた」というのです。
最後に話題を変え「遠赤外線製品と健康について」意見を求めると、先生は同研究会の「理事長の顔」からにわかに専門分野の「科学者の顔」に戻り、「勿論そりゃいいですよ。遠赤外線は健康に」と力強く言われました。
ちなみに先生は既に卒寿の山を越えています。取材中に見せた明晰な頭脳、凛とした動作さと言語明瞭な口調が印象的な素敵な先生でした。

遠赤外線と健康 ●《広がるインフルエンザ感染に備える》

新型コロナウイルス騒動の陰で増加する感染者

『日だまり』『こはる日和』などの

遠赤外線製品の活用も有効な予防策です

あなどってはいけない
インフルエンザ感染対策

新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るっています。感染拡大はまだまだ落ち着く様子が見られません。困ったものです。とても不安ですね。

連日報道されるコロナウイルス騒動で見落とされ話題になっていませんが現在インフルエンザ患者も増加傾向にあるのをご存知でしょうか。

国立感染症研究所の直近の「インフルエンザの流行マップ」によれば、感染者数は4万4737人です。アメリカでは驚くことに罹患者はなんと2200万人、死者数は12000人にもなっています。

例年のことですが、この時期は感染症が心配される季節です。感染症にはインフルエンザ、溶連菌感染症、ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症などがあります。なかでも最も注意したい感染症はインフルエンザです。嚴重な警戒が必要です。

インフルエンザはどんな症状が出る感染症で、どういう経路で感染するのでしょうか。そしてどうすれば防ぐことが

できるのでしよう。

インフルエンザは症状が似ているので風邪と間違われることが多いですが風邪とは違います。感染力も強く、1〜4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱(38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛など全身症状を伴うのが特徴です。鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続きます。通常は1週間前後の経過で軽快します。

有効な予防接種。決め手はこまめな「手洗い」と「うがい」の励行

どのような経路で感染するのでしよう。主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染です。他には接触感染もあるといわれています。インフルエンザを予防するにはどうすればいいのでしよう。なんといいっても予防接種を受けることが有効です。予防接種を受けることで発症率、重症化率の低減につながるといわれています。

実は感染対策は予防接種を除けば、特別な対策などはありません。常識

的なことばかりです。飛沫感染対策として有効なのは喉のうがいの励行です。接触感染の対策としてはこまめな手洗いが重要となります。

特に濃厚な接触機会の多い学校などの集団生活施設ではインフルエンザの集団発生をコントロールするのがなかなか困難だけに、そうしたごく当たり前の対策を徹底してすることが最重要となります。また日頃から体力、免疫力をつけるような生活習慣、例えば適度な運動や栄養バランスがとれた食生活、あるいは十分な睡眠をとるなど規則正しい生活こそが感染予防にはとても大切なのです。

『日だまり』や『こはる日和』などの遠赤外線放射製品を日常生活の中に取り入れ活用することも、体内環境を整えて免疫力を高めるためにも有効と考えられます。実はこうした対策は、現在、感染を広げている新型コロナウイルス対策にもなるのです。

「食」のコラム



＜免疫力を上げて ウイルスから身体を守ろう！＞

免疫力が高いと、インフルエンザやかぜなどの感染症にかかりにくくなり、仮に感染しても症状が軽く済みます。病気になる身体をつくるためにも、免疫力を上げる事を意識しましょう。前号でもお話しましたが、腸は免疫力の約7割を司っているといわれる最大の免疫器官。腸内環境を整えることは直接免疫力アップにつながります。また、内臓温度を上げるのも大きなポイント。

内臓温度が1℃下がると、免疫力が30%下がるといわれていて、体を内側から温めることが免疫力アップにつながります。特に現代人は知らず知らずのうちに体が冷えています。「冷えは万病のもと」。飲み物はホットを選ぶ、身体を温める食材を選ぶ、適度に身体を動かす、などを心がけましょう。日光浴は自律神経を整え、免疫力を高めてくれます。身体も喜ぶポカポカ気持ちのいい日光浴、1日15分〜気持ちのリラックスにもつながります。

今回は、手軽に摂取できる「免疫力UPに効果的な飲み物」をご紹介します。

◆免疫力UPに効果的な飲み物◆

オススメ①

圧倒的にオススメなのが緑茶。抗菌作用があるのは皆さんもよくご存知でしょう。緑茶に含まれるカテキンは実は何種類もあり、中でもエピガロカテキンゲレートには抗ウイルス作用があります。沸騰したお湯はエピガロカテキンゲレートを壊してしまうので、80℃程度でいれるのがいいでしょう。



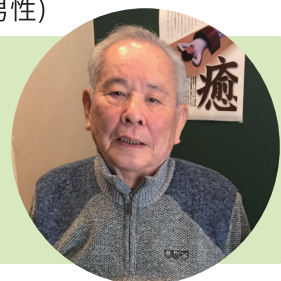
オススメ②

次にオススメなのが紅茶です。紅茶ポリフェノールのテアフラビンが、ウイルスの感染力を弱める効果が期待できます。ただし、ミルクを入れると機能しなくなるので、ストレートかレモンで。



カフェインを過剰摂取すると血管が収縮し、体温が下がりがやくなる事がわかっています。コーヒーのようなカフェインの多い飲み物は飲みすぎ注意です。

2年間、巣鴨のひだまりやにほぼ毎日通い続けた常連さん 手術後からの原因不明の冷え性、高血圧が改善 「ここがなくなったら俺の楽しみがなくなっちゃうよ(笑)」



●背中冷えが気になって

「2年ほど前から背中冷えが気になってね」

加藤さんが巣鴨のひだまりやを訪れたのは、冷え性や体質改善に役立つかもしれないと考えてのことでした。

加藤さんは巣鴨地藏通り商店街のすぐそばに住んでいらっしゃいます。ある日商店街を歩いていて、ひだまりやの「温熱」や「冷え性改善」という看板の言葉に惹かれ、勇気を出して入店したとのことでした。

加藤さんが背中冷えが気になりだしたのは、約3年前。腹部動脈瘤と狭心症の手術をしたあとのことでした。手足の末端は温かいのに、背中だけ冷えを感じる。そんなことあるのかと医師に聞いても「手術の影響で何かしら体に変化が起きてしまっているのかもしれない」とのこと、明確な理由はわかりませんでした。

とりあえず何か改善する手段はないかと、様々なものを試したようです。漢方や、数万円もするサプリメント、1回1万円以上する整体など…。しかしどれも決定的な解決策になりませんでした。そして常に「冷え性改善や体を温めるもの」を探すようになったとのことでした。

そうした中で加藤さんは巣鴨のひだまりやにご来店いただきました。

最初にひだまりやで「日だまり」と「床暖房」を体験したとき「こんなに体が温かくなるものか」と驚いたそうです。それから加藤さんは週に何日もひだまりやに通うことになりました。「どんなに良い方法でも、1回や2回で治るとは思っていないよ。続けられることが大事だから。」

日だまりとの相性や家が近いのはもちろん、スタッフのおしゃべり、他のお客様とのコミュニケーションなど、加藤さんにとって楽しいルーティンワークのようなものになったようです。加藤さんは約2年間、ほぼ毎日ひだまりやに通っていただきました。

●背中冷え対策にひなた羽織

ひだまりやに通っていただき、遠赤線の良さを体感した加藤さんは「肩甲骨が温まるので背中、首、肩が気持ちいい」とのこと、「ひなた羽織」を購入します。家でもしっかり温めていたようです。「毎日お店に通うのもお金がかかるし、製品を買えば通う必要なくなるかなと思ったんだけど、結局毎日通ってるね(笑)冬とか寒い日でもあまり冷えが気にならなくなりました。すごいね。あ、夏でも毎日使ってるよ。」

●高血圧も安定してきた

加藤さんは背中冷えともう1つ悩んでいたことがありました。それが「高血圧」です。たびたび200前後まで血圧が上がってしまい、救急車で運ばれることもあったようです。血圧は加齢によってある程度は自然と高くなってしまふものですが、200ともなると危険です。しかしひだまりやに通ったり、自宅でひなた羽織を使っていくうちに、血圧が異常に高くなることはほとんどなくなったようです。遠赤外線は血管拡張をして血の流れを良くするので、その効果があったのかもしれない。

●夏でも毎日ひだまりやに通う

遠赤外線は体に良いといっても、多くの方は暑い夏には使う頻度を減らしたりするものですが、加藤さんはお店にも毎日通い、自宅ではひなた羽織を使っていました。

「夏のムシムシする暑さとひだまりやの遠赤線の熱さは全然ちがうからね。夏でも気持ちのいい温かさなんだよ」遠赤線の本質を突いたような感想をいただきましたが、加藤さんの体感としては夏でも冬でも遠赤線は気持ちの良いもののようです。「昔は体温が35度台だったけど、最近は36度台に上がってきたよ」

【取材後感想】

巣鴨ひだまりやの一番の常連さんで毎日のように顔を合わせていたので、加藤さんにお会いできなくなることはスタッフ共通の寂しさでもありました。80歳を過ぎてても元気な姿でお店に来てくれて、他のお客さんと楽しくコミュニケーションを取る加藤さんの姿を見て「元気なお年寄りの街・巣鴨」の象徴のような方だなあと感じます。約2年間、たくさん遠赤線を浴びて体質も改善されてきたようで幸いです。「ひだまりやがなくなったら俺の楽しみがなくなっちゃうよ(笑)」と言っていただけでしたが、スタッフも加藤さんとは親戚のおじいちゃん以上にお会いしていたので寂しさは大きいです。

※ひだまりや巣鴨店は移転のため2020年2月で約4年半の営業に幕を下ろしました。形態を変えて東京の調布市にオープン予定です。

●お客様のお話に出てきた製品はコチラ



ショルダーウォーマー

は お り

『ひなた羽織』

ES-6DB5



肩こりを解消するには、肩甲骨の血流改善がポイントになります。

ひなた羽織は、肩と肩甲骨を同時に温められるよう設計されています。

コードレスでの使用が可能なので、いつでもどこでも、あなたを優しく温めます。

— 腸は生命体の根幹 —

今年1月末、この3月に開催するある外科医を囲む会の案内メールが届いた。健康を損ねていた先生の体調が回復したことを祝うのが会の趣旨だが、新型コロナウイルスの関係で開催できるのか、この執筆時点では分からない。

実はこの医師とは、ちょうど1年前に本紙で紹介された『考根論』の田中保郎先生である。先生の医学理論は本欄のテーマと関係するので今号で触れたい。先生が唱える考根論とは、一言でいえば、小腸は体の根っこであるという東洋医学に裏付けされた考えである。

先生は外科医として40余年間、西洋医学に誇りを感じ医療に従事してきた。しかし、対症療法的な西洋医学の限界を感じ、鍼灸や東洋医学に目を向けるようになり、東洋医学は西洋医学とは異なる部位、異なる次元で病気を診ている医学であることに気がついたという。脇道に逸れるが、その視点は本紙

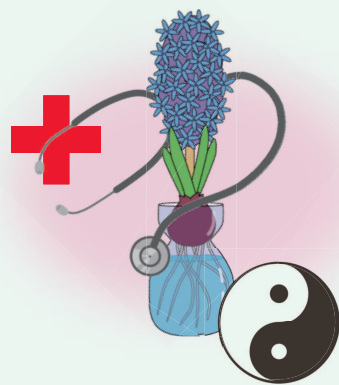
8号で掲載された消化器外科医の高橋徳先生が、東洋医学に転じた考え方と似ている。ちなみに高橋先生は、鍼治療効果の作用機序の研究を英文で解明し米国の統合医療分野に「鍼治療」の市民権を確立させた異色の医師である。

さて「考根論」だが、西洋医学の医療の診方は「花に向かう医療」であるのに対して、東洋医学は「根に向かう医療」で、小腸こそが根に向かう医療の根幹をなす臓器であるというのだ。たしかに中国医学のバイブル『黄帝内経』に「小腸は伝導の管(支配者)である」という言葉が出ている。

近年は腸に関する研究が進み、腸管の役割や重要性が見直されている。消化吸収を行う腸を持つ動物の原点は腸管のみからなる「腔腸動物」であり、動物の体はまず腸管から発生すること、また発生学的に見て腸管にはさまざまな臓器が含まれていることからなどから

「腸は第二の脳(神経)」であるとする某医学者の見解もある。それを支持する田中先生の考根論は興味深い。

神経系の研究は生命現象の最後に残された神秘的な領域といわれ謎が多い。神経ペプチドの遺伝子解析によって、ある一群のものは共通のご先祖に由来したと考えられる構造が見られるそうだ。神経細胞と腸管とで同じようなペプチドが産生される例が多いことから神経ペプチドのご先祖は共通のご先祖から由来したと推察されるのだという。『遠赤王』は人間の進化を考えると、その不思議さの妙を思わず呟いてしまうのを禁じ得ない。



おすすめのひだまりスポット



沖縄
エコ・コミ沖縄
ひだまりや
☎ 098-979-0238

〒 904-2244
沖縄県うるま市江洲507 うるまシティプラザ1F



埼玉
遠赤王体感型
ショールーム
ヘアサロン
Pari Sian
(パリスィエ)
☎ 0120-61-9362

〒 356-0051 ☎ 049-261-9362
埼玉県ふじみ野市亀久保2-13-13



東京
フットケアサロン
Le Couple
(ルクプル)
☎ 042-455-1833

〒 182-0024
東京都調布市布田2-33-4 大竹ビル5 401



茨城
ラ・プラージュ
-[La plage]-
☎ 0299-83-0347

〒 314-0006
茨城県鹿嶋市宮津台199-86



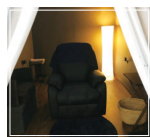
東京
高級リラクゼーションサロン
ohana (オハナ)
☎ 03-6279-5389

〒 182-0002
東京都調布市仙川町1-12-12 サンエービル 3F



福岡
Lucu-ルチュ-
☎ 092-791-4746

〒 810-0042
福岡県福岡市中央区赤坂1-14-29-402
赤坂駅より徒歩2分



沖縄
脳と身体のリラクゼーション
頭癒処
温×頭
~ONZU~
☎ :090-8625-3588

〒 904-2244
沖縄県うるま市江洲507 うるまシティプラザ1F



長野
ひだまりや信州
☎ 0268-42-6230

〒 386-0412
長野県上田市御獄堂680-2



群馬
Special MARRY
(スペシャルマリー)
☎ 0227-329-6771

〒 370-0041
群馬県高崎市東貝沢町2-16-9 ケーブルA

